人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

創立指揮者 渡邊曉雄

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

SUBSCRIPTION CONCERTS

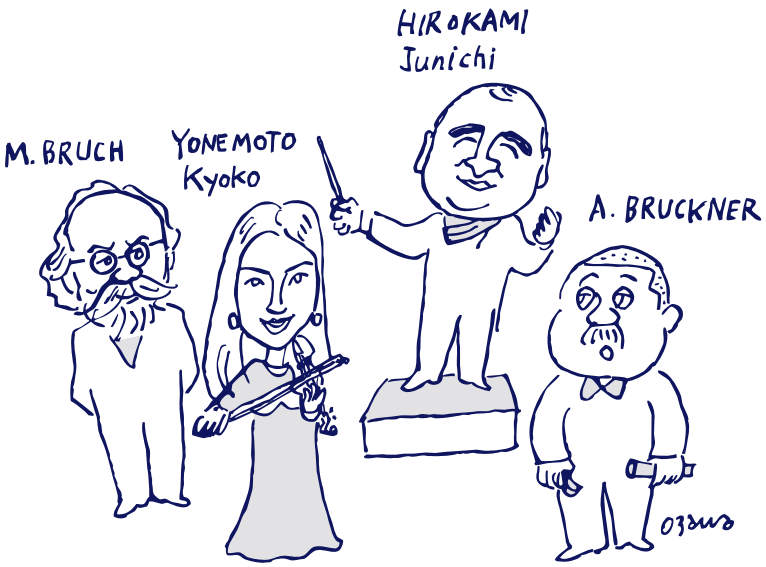
2022

7

JUL

第742回
東京定期演奏会

サントリーホール
2022年7月8日(金)19:00
7月9日(土)14:00



日本フィルハーモニー交響楽団

CONTENTS
目 次

◆ プログラム 4
◆ 出演者プロフィール 6
◆ プログラム・ノート- 舩木 篤也 - 9
◆ 写真プレイバック- 2022年5月6月 - 12
◆ Member's TVU CHANNEL 配信一覧 13
◆ 感動の共有　～ご支援のお願い～ 19
◆ 日本フィルハーモニー交響楽団　特別会員ご芳名 20
◆ パトロネージュご芳名 24
◆ 2022／2023東京定期演奏会 26
◆ 2022／2023横浜定期演奏会 27
◆ 次回東京定期演奏会 28
◆ インフォメーション 30
◆ 公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団　名簿 31

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA
SUBSCRIPTION CONCERTS Vol.742

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA 742nd SUBSCRIPTION CONCERTS

日本フィルハーモニー交響楽団
第742回 東京定期演奏会

サントリーホール Suntory Hall

2022年7月8日(金)午後7時開演／9日(土)午後2時開演

7:00p.m. July 8th (Fri.) & 2:00p.m. 9th (Sat.), 2022

主　　催 ／ **公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団**

協　　賛 ／ **鹿島建設株式会社**　**三井不動産株式会社**　ハウス食品株式会社

衣装提供 ／ 株式会社カインドウェア
表紙イラスト ／ 小澤 一雄

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術創造活動活性化事業）
独立行政法人 日本芸術文化振興会

感染防止策にご協力をお願いいたします。

- ●スタッフは不織布マスクを正しく着用します。また、小声で対応させていただきます。
- ●入場時の手指消毒、手洗い、検温をお願いいたします。
- ●ホール内ではマスク（不織布など効果の確かなもの）を正しく着用し、周囲のお客様への配慮をお願いいたします。
- ●開演前はなるべくお席でお過ごしください。また時差退場のご協力をお願いいたします。
- ●会場ロビーでの食事はお控えください。（ホール内は飲食禁止です）
- ●ブラボー等の掛け声はお控えください。ホール内では大声での会話を避けるようご協力をお願いいたします。
- ●出演者へのプレゼント（お手紙・お花などを含む）、面会、楽屋入待ち、出待ち等はご遠慮ください。
- ●チケットご購入者と演奏会ご来場者のお名前が異なる場合は、ご来場者のご住所、お名前、電話番号を弊団までお知らせください。
- ●万が一感染者が発生した場合など、必要に応じて保健所等の公的機関へお客様のお名前と連絡先を提供する可能性がございます。
- ● 新型コロナウイルス接触アプリ（COCOA）等通知アプリの利用をお勧めいたします。

＊この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムを用意しております。ご要望の方は主催者までお申し出ください。

ブルッフ：スコットランド幻想曲 op.46　約30分
Max BRUCH: Schottische Fantasie, op.46

休憩（15分）Intermission

ブルックナー：交響曲第7番 ホ長調 WAB107（ハース版）　約64分
Anton BRUCKNER: Symphony No.7 in E-major, WAB107 (Haas Edition)

指揮：広上 淳一［フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）］
Conductor: HIROKAMI Junichi, Friend of JPO/Artistic Advisor

ヴァイオリン：米元 響子
Violin: YONEMOTO Kyoko

ハープ：松井 久子
Harp: MATSUI Hisako

コンサートマスター：扇谷 泰朋［日本フィル・ソロ・コンサートマスター］
Concertmaster: OGITANI Yasutomo, JPO Solo Concertmaster

ソロ・チェロ：菊地 知也［日本フィル・ソロ・チェロ］
Solo Violoncello: KIKUCHI Tomoya, JPO Solo Violoncello

演奏中のマナーにご協力をお願いいたします。

■ 演奏会をお楽しみいただくために
演奏中はお手持ちの時計のアラーム、または携帯電話などの電源はお切りください。また手荷物、傘、チラシ類などの物音、話し声などで他のお客様のご迷惑にならないようご配慮をお願い申し上げます。尚、録音、録画、写真撮影は固くお断りしております。

■ 電源OFF

■ 声と拍手にご注意を

■ 周囲にご配慮を

■ 音にご注意を

■ 撮影禁止

©Masaaki Tomitori

Conductor 指揮

広上 淳一
［フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）］

HIROKAMI Junichi, Friend of JPO/Artistic Advisor

東京生まれ。尾高惇忠にピアノと作曲を師事、音楽、音楽をすることを学ぶ。東京音楽大学指揮科卒業。1984年、26歳で「第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクール」に優勝。以来、フランス国立管、ベルリン放送響、コンセルトヘボウ管、モントリオール響、イスラエル・フィル、ロンドン響、ウィーン響などメジャー・オーケストラへの客演を展開。これまでノールショピング響、リンブルク響、ロイヤル・リヴァプール・フィルのポストを歴任、このうちノールショピング響とは94年に来日公演を実現、さらに米国ではコロンバス響音楽監督を務めヨーヨー・マ、五嶋みどりをはじめ素晴らしいソリストたちとともに数々の名演を残した。

近年では、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ響、スイス・イタリア管、モンテカルロ・フィル、バルセロナ響、ビルバオ響、ポーランド国立放送響、スロヴェニア・フィル、サンクトペテルブルク・フィル、チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ、ラトビア国立響、ボルティモア響、シンシナティ響、ヴァンクーヴァー響、サンパウロ響、ニュージーランド響等へ客演。国内では全国各地のオーケストラはもとより、サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管弦楽団にもたびたび招かれ絶賛を博している。

オペラ指揮の分野でもシドニー歌劇場デビューにおけるヴェルディ《仮面舞踏会》、《リゴレット》が高く評価されたのを皮切りに、グルック、モーツァルトからプッチーニ、さらにオスバルト・ゴリホフ《アイナダマール》の日本初演まで幅広いレパートリーで数々のプロダクションを成功に導いている。

2008年4月より京都市交響楽団常任指揮者を経て2014年4月より常任指揮者兼ミュージック・アドヴァイザー、常任指揮者として13シーズン目の2020年4月より2022年3月まで京都市交響楽団第13代常任指揮者兼芸術顧問を務めた。2015年には同団とともにサントリー音楽賞を受賞。現在は日本フィルハーモニー交響楽団 フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）、札幌交響楽団友情指揮者、京都市交響楽団 広上淳一、京都コンサートホール館長。2022年9月にはオーケストラ・アンサンブル金沢アーティスティック・リーダーに就任する。また、東京音楽大学指揮科教授として教育活動にも情熱を注いでいる。

©Hirotada Onaka

Violin ヴァイオリン

米元 響子

YONEMOTO Kyoko

3歳よりヴァイオリンをはじめ、梶田昭、伊達良、桐朋学園「子供のための音楽教室」では鈴木亜久里に、後に海野義雄の各氏に師事。1997年パガニーニ国際ヴァイオリンコンクール（イタリア）において、史上最年少13歳で入賞後、日本音楽コンクール、モスクワ・パガニーニ国際ヴァイオリンコンクール優勝など数々の賞を受賞。2003年パリに移り、ジェラール・プーレ氏に師事。2004年からはオランダ・マーストリヒト音楽院とキジアーナ音楽院でボリス・ベルキン氏に師事し、（公財）ロームミュージックファンデーション、（一財）ヤマハ音楽振興会の奨学生として修士課程を修了。2008年「出光音楽賞」受賞。

これまでにチョン・ミョンフン、ロベルト・ベンツィ、ユーリ・バシュメット、エリアフ・インバル、ハンス＝マルティン・シュナイト、ガブリエル・フムラ、ギュンター・ノイホルト、小泉和裕、小林研一郎、広上淳一ら著名指揮者をはじめ、国内の主要オーケストラはもとより、モスクワ国立交響楽団、ケルン放送管弦楽団、リンブルフ交響楽団（オランダ）、リエージュ王立フィルハーモニー管弦楽団、ビルバオ交響楽団、台北市立交響楽団等の海外オーケストラとも多数共演。室内楽の分野でもヨーロッパ・日本を中心に活躍中。近年ではイタリア・キジアーナ音楽院でブラームスの全曲演奏会、トリエステ・ヴェルディ劇場オーケストラ(イタリア）とプロコフィエフのヴァイオリン協奏曲第1番をペドロ・アルフテル＝カロの指揮で演奏し好評を博した。ベルギーの音楽祭では室内楽シリーズでジャン＝クロード・ヴァンデン・アイデン（ピアノ）やデイヴィッド・コーエン（チェロ）などと共演を果たしている。

今シーズンは、4月に東京都交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団と小泉和裕指揮でチャイコフスキーの協奏曲を好演。7月はフィリアホール「土曜ソワレシリーズ」にて、上村文乃（チェロ）、菊池洋子（ピアノ）とのトリオ公演を、10月には、堀込ゆず子、有希マヌエラ・ヤンケ、青木尚佳と「4つのヴァイオリン・コンサート」の国内ツアー等を控えている。2019年3月、キングインターナショナルより初のCD『イザイ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ全曲（未完の新発見ソナタも含む）』を発売。文化庁芸術祭優秀賞、『レコード芸術』特選盤に選出された。

現在、オランダ・マーストリヒト音楽院教授。

使用楽器は1727年製のストラディヴァリウス（サントリー芸術財団より貸与）。

Harp ハープ

松井 久子

MATSUI Hisako

兵庫県西宮市出身。相愛高等学校音楽科を経て東京藝術大学卒業。ハープを田淵順子、篠﨑史子の各氏に師事。1988年日本演奏連盟主催によるオーディションに合格。東京文化会館小ホールに於いて同連盟主催による初のリサイタルを開催、好評を博す。1989年第1回日本ハープコンクール第2位。1991年明治安田生命クオリティオブライフ文化財団の奨学金を受ける。1993年日本フィルハーモニー交響楽団に入団、現在に至る。2004年から1年間フランスに留学し、マリー・クレール＝ジャメ氏に師事。留学中、ベイルートに於いてレバノン国立交響楽団にソリストとして招かれ共演、リサイタルを行う。また日本の古代ハープである箜篌（くご）の演奏も手がけ、国立劇場やシアター・コクーン等で数々の現代作品を演奏。各地でリサイタルや協奏曲のソリストを務めるなど、幅広く活躍している。

プログラム・ノート 解説：舩木 篤也

■ ブルッフ：スコットランド幻想曲 op.46

マックス・ブルッフ（1838-1920）はベートーヴェンの没後11年目にドイツのケルンに生まれた作曲家。日本でいえば大正9年、82歳まで長生きをしたが、最も精力的に創作にあたったのは19世紀の後半である。

当時多大な影響力をもった音楽に、リストやワーグナーに端を発するいわゆる「新ドイツ楽派」があった。楽曲形式や和声において急進的な道を切り開き、また交響詩や楽劇をとおして音楽の文学化をはかったとされる人たちだ。当然ながら、これに反発した陣営もいた。その旗ふり役となった批評家、エドゥアルト・ハンスリックがブラームスを強力に推したために「ブラームス派」などと呼ばれるが、ブラームスより5歳下のブルッフのほうが、対抗意識ではずっと激しかっただろう。

作風は、同じ古典回帰派でも、ブラームスより30年前のメンデルスゾーンに近い面がある。そんな彼が、後年「ベルリン王立芸術アカデミー副会長」という権威ある鞘におさまり、リヒャルト・シュトラウスをはじめ新しい才能を「最悪のモダニズム惨禍」といってあからさまに批判したのだ。

いっぽうでブルッフは、自分の作品が十分に理解されない状況に、いら立ちと諦念を抱いていた。その元となったのが、有名なヴァイオリン協奏曲第1番。つまり、あの傑作ばかりに注目が集まり過ぎたのだ。「だいたい私が書いた作品は、それ1曲だけかね？（中略）まったく、残りの協奏曲もやって頂きたいものだね。あれらだって、第1番より優れているとは言わんが、同じくらい良く書けているだろう」とは作曲者自身の弁。ワーグナーとブラームスに挟まれた世代の悲哀のようなものが感じられよう。

ブルッフはヴァイオリン協奏曲を計3曲書いた。そのほかにも、ヴァイオリンとオーケストラのための作品として6曲がある。うち、これから聴く「スコットランド民謡の旋律を自由に用いたヴァイオリンと管弦楽とハープのための幻想曲」（1879/80年）は、ロバート・バーンズほか編による曲集『スコットランド音楽博物館』に材を得た作品で、第2協奏曲のあとに位置する。ヴァイオリンの名手パブロ・デ・サラサーテに献呈されたが、1881年2月22日の初演では、独奏をヨーゼフ・ヨアヒムが担当。オーケストラは英国のリヴァプール・フィルハーモニー協会のそれで、ブルッフ自身が指揮をとった。

序奏　作曲者によれば、「廃墟となった城を眺め、過ぎ去りし栄光に満ちた時代を思う吟遊詩人」の音楽。ヴァイオリン独奏はレチタティーヴォ（朗誦）ふう。

第1楽章　序奏から切れ目なく、変ホ長調に明るんで始まる。スコットランド民謡「森を抜けて、若人よ」に材をとる。

第2楽章　民謡「粉だらけの粉屋」に基

づくダンサブルなスケルツォ楽章。独奏はバグパイプふうの和音に乗って登場。沈静して第1楽章の主題が回帰、継ぎ目なく次の楽章へ。

第3楽章　民謡「ジョニーがいたなら」に基づくアンダンテ楽章。和声に「新ドイツ楽派」からの影響も？

第4楽章　「アレグロ・グゥエリエロ」の指定どおり、勇ましい（戦闘的な）アレグロ。基となった国民歌「スコットランドの民よ」の旋律は、すでにバノックバーンの戦い（1314年）において、スコットランド国王ロバート1世によって歌われたとされる。曲尾近くで第1楽章の主題が回帰する。

楽器編成：独奏ヴァイオリン、独奏ハープ、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、テューバ1、ティンパニ、大太鼓、シンバル、弦楽5部。

■ ブルックナー：交響曲第7番ホ長調 WAB107（ハース版）

アントン・ブルックナー（1824-1896）の交響曲は、初期の習作を除くと、未完の第9番を含め全部で10曲。第1番の次に書かれ、のちに「無効」とされたいわゆる第0番があるから、そうした計算になる。そして口さがない人は、「ブルックナーは同じ交響曲を10回書いた」などと言う。

曲頭はいつも「静から動へ」のパターン。それがいつも弦楽器によるトレモロないしは同音形の刻みで開始される。そこかしこに総休止やユニゾン（斉奏）が現れるのも同じならば、迂遠な和声展開をたどったり、一定のリズムがひっきりなしに反復されるのも同じ。つまりどの曲も似かよっている、というわけだ。

オーストリアはリンツ近郊のアンスフェルデンという小村の生まれ。青年期のブルックナーは、「オルガン弾きにして教師」であった。やはりリンツ近郊の、聖フローリアン修道院がその舞台である。ウィーンで高名な音楽理論家に弟子入りし、音楽家になると決めたのはリンツ大聖堂のオルガニストになった31歳のときだった。

「交響曲作家ブルックナー」の芽ばえを、1863年と定めよう。この年、習作交響曲ヘ短調のスケッチを始めた直後に、歌劇「タンホイザー」のリンツ初演を通して、はじめてリヒャルト・ワーグナーのオペラ全曲を体験。以後、この管弦楽法の革命家がブルックナーにとって「巨匠中の巨匠」となった。この3年後に、記念すべき交響曲第1番が完成する。ブルックナーは41歳になっていた。

その後、ウィーン音楽院の教授職についたのを機に、この音楽の都に活動の拠点を移す。そして次々と交響曲を書きついでゆくのだが、周囲の反応は冷淡なものだった。繰りかえし下される「演奏不能」の宣告。第4交響曲（1881年初演）にいたってようやく成功に浴すが、それとて、書き直しに書き直しを重ねた後の結果だった。

不動の地位を築いたのは、ようやく60歳になってから。それをもたらしたのが、ほかでもない、交響曲第7番であった。初演は1884年12月30日、ライプツィヒにて。アルトゥル・ニキシュ指揮ゲヴァントハウス管弦楽団による。その後同曲はミュンヘン（1885年）、ウィーン（1886年）と、大歓呼をもって受け入れられてゆくことになる。

世間の抵抗に遭わなかったという事実は、この作品の本質的な一面と深く関わっていよう。ここへきて旋律美が、歌が、前面に打ち出されたのである。先に列挙したようなブルックナー交響楽に共通する特徴は、当時、あまりに斬新に映っていた。それが第7番では、後景に退いたように見えたのだ。前作のリズミックだった第6番と比べても、カンタービレな第7はきわだった対照をなしている。10曲みな同じと言うのは、やはり不当だろう。

第1楽章　冒頭、弦楽のトレモロに乗ってのびやかに奏でられるチェロの旋律（第1主題）が印象的。この旋律の最初の音程、下行4度は、本作全体をぬい合わせる音程とみてよい。金管楽器のやわらかな同音連打に乗って、オーボエとクラリネットが第2主題を吹く。やがて管弦ともに嵩を増してゆき、頂点でそれがやむと、踊るような第3主題が弦楽上に現れる。壮大なコーダでは、教会堂の鐘という鐘が共鳴するかのようだ。

第2楽章　1883年2月13日、ワーグナーが世を去った。その報せを聞いたとき、ブルックナーはちょうど本楽章のクライマックス部を作曲中だったという。その部（ハース版ではここに打楽器が入らない）が静まったあとの悲しげな金管五重奏は、葬送の音楽。ワーグナーの発明による楽器「ワーグナー・テューバ（テナーとバス）」が重奏に加わっているが、この楽器は本楽章の冒頭でも鳴っている。その厳かな旋律が第1主題で、やはり下行4度で開始。やさしい音調の第2主題は逆に、上行する4度で始まる。

第3楽章　スケルツォ（快速かつ諧謔的）―トリオ（ゆるやかな中間部）―スケルツォの3部形式。本作中もっともリズミックなこの楽章を、ブルックナーは最初に完成させた。他の楽章とはいっけん異質にみえるが、トランペットで短く示されるスケルツォ主題の締めくくりは、またしても下行4度だ。

第4楽章　冒頭部は、第1楽章冒頭のいわば縮小コピー。ヴァイオリンが下行4度で始める第1主題は、いかにも楽しげだが、第1楽章冒頭のあのチェロの旋律を変形したものである。静かな讃美歌ふうの第2主題を経て、突然、全管弦楽が声を合せる第3主題は、巨漢の不器用な踊りのようで、これまたユーモラス。最後に第1楽章・第1主題が回帰し、交響曲は「円」を閉じる。

楽器編成：フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、ワーグナー・テューバ4（テナー2、バス2）、トランペット3、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、テューバ1、ティンパニ、弦楽5部。

Playback プレイバック

5月6月の公演を振り返ります

PHOTO 1 5月東京定期演奏会は、2023年9月から首席指揮者に就任することが発表されたばかりのカーチュン・ウォンが登場。ピアノ線が切れそうなくらい（実際に切れました）超ハイテンションな伊福部昭《リトミカ・オスティナータ》と、天国への輝かしい道が拡がるマーラーの世界をお楽しみいただきました。*

PHOTO 2 6月2日のとっておきアフタヌーンは、鈴木優人さん、石上真由子さんの抜群のコンビと高橋克典さんの耳福のナレーションでブルッフのヴァイオリン協奏曲第1番、メンデルスゾーンの《真夏の夜の夢》などをお楽しみいただきました。

PHOTO 3 6月のコバケン・ワールドは4日の京都公演と5日の東京公演の2公演！小林マエストロと幾度となく共演し大好評を得ているヴァイオリニスト千住真理子さんが登場しました。ブルッフのヴァイオリン協奏曲第1番やベートーヴェンの交響曲第7番など祝祭感溢れた公演をお届けしました。

PHOTO 4 6月10日は横浜定期演奏会。演奏を終えた広上マエストロとベルキンさんが寄り添う姿は、音楽家同志のリスペクトそのもの。30年来の信頼と尊敬の絆を感じました。ベルキンさんのプロコフィエフのヴァイオリン協奏曲第2番では、異次元の美しさと完璧なテクニックにオケも客席もただただ酔いしれました……

PHOTO 5 6月12日の名曲コンサートから、広上マエストロ、横山幸雄さん、ピアニカさんのスリーショット！日本フィル九州公演でこの曲を初共演してから27年。尊敬と敬愛に満ちた笑顔です。

*印のアーカイブ配信はMember's TVU CHANNELで。
https://members.tvuch.com

Member's TVU CHANNEL CLASSICAL MUSIC

クラシカルミュージック

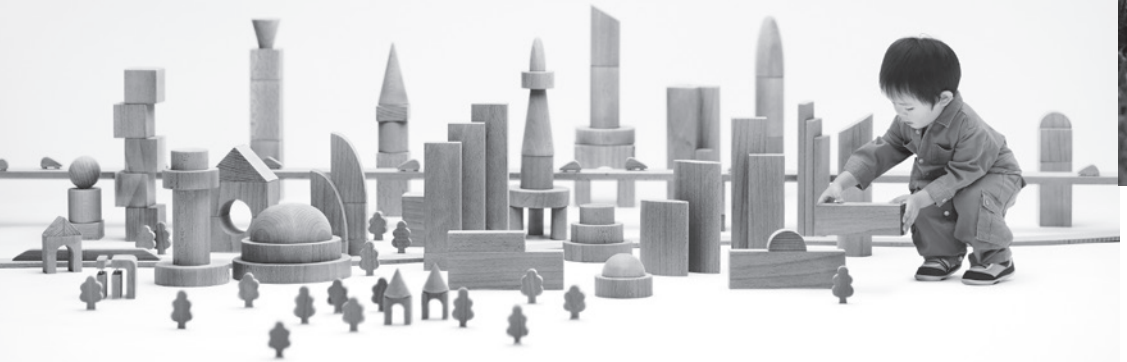
https://members.tvuch.com

Member's TVU CHANNELは、クラシック音楽のコンサートの臨場感をいつでもどこでもお楽しみいただけるインターネット・サイトです。コンサートホールからのライブ配信、さらにコンサートが終わったあともアーカイブ映像としていつでも視聴可能です。日本フィルの配信は1,000円で3ヵ月間何度でもご視聴いただけます（販売期間は6ヶ月です）。

まずはID登録！ メールアドレスとパスワードのみで簡単！

1月16日	東京定期演奏会	指揮：阪 哲朗	アーカイブ配信
1月23日	名曲コンサート	指揮：下野 竜也	アーカイブ配信
3月4日	東京定期演奏会	指揮：広上 淳一［フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）］	アーカイブ配信
3月11日	さいたま定期演奏会	指揮：鈴木 優人	アーカイブ配信
4月1日	東京定期演奏会	指揮：小林 研一郎［桂冠名誉指揮者］	アーカイブ配信
4月17日	名曲コンサート	指揮：ピエタリ・インキネン［首席指揮者］	アーカイブ配信
4月23日	横浜定期演奏会	指揮：ピエタリ・インキネン［首席指揮者］	アーカイブ配信
5月14日	横浜定期演奏会	指揮：カーチュン・ウォン［首席客演指揮者］	アーカイブ配信
5月28日	東京定期演奏会	指揮：カーチュン・ウォン［首席客演指揮者］	アーカイブ配信
6月18日	東京定期演奏会	指揮：秋山 和慶	アーカイブ配信
7月1日	さいたま定期演奏会	指揮：鈴木 優人	アーカイブ配信
7月2日	横浜定期演奏会	指揮：広上 淳一［フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）］	アーカイブ配信
7月9日	東京定期演奏会	指揮：広上 淳一［フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）］	ライブ＆アーカイブ配信

想像を、チカラに。



人が想像できることは、必ず人が実現できる。
鹿島の都市づくりは、100年先を見つめています。

100年をつくる会社
鹿島

MITSUBISHI
PAPER MILLS
LIMITED

FSC®森林認証紙

森林管理に関するFSCの原則と規準では、「森林のもたらすサービスや価値の維持・向上」、
「価値のある森林生態系を守ること」などが求められており、生物多様性の保全が図られています。

三菱製紙株式会社 http://www.mpm.co.jp

FSC
www.fsc.org
FSC® C021528
責任ある森林管理
のマーク

未来につなぐ、おいしい笑顔。

素晴らしい音楽は、心を躍らせ、人を笑顔にします。
私たちハウス食品グループは、
音楽が人に感動を与えるように、食を通じて、
幸せを届けたい。
おいしさと健康で、
笑顔ある暮らしを共につくりたい。
これからも、人と笑顔をつなぐ、
皆さまのグッドパートナーを目指して。

Plate:RAYNAUD
エルキューイ・レイノー　青山店　Tel.03-3797-0911

食でつなぐ、人と笑顔を。

House ハウス食品グループ

最高級のアコースティックを誇る

杉並公会堂
Suginami Koukaidou

日本フィルは杉並公会堂を活動拠点とし、
様々な活動を通じて音楽文化を発信しています。

日本フィル杉並公会堂
シリーズ公演より

春休みオーケストラ探検より
楽器体験

公開リハーサル

〒167-0043 東京都杉並区上荻1-23-15
Tel: 03-3220-0401
http://www.suginamikoukaidou.com/
※運営会社：(株) 京王設備サービス

日本フィルを支えてくださる皆様に、
心より御礼申し上げます。

コロナ禍による演奏中止、入場者数制限等は、大きなスポンサーをもたず演奏収入を主たる収入源としている日本フィルにとって、財政面で大きな打撃となり、一時は楽団存続の危機に直面しました。その際、全国の多くの方々からの温かいご支援、国・自治体・民間団体・企業等からの助成をいただいたおかげで、皆様に演奏をお届けできておりますことに、感謝の気持ちでいっぱいでございます。本当にありがとうございました。

さまざまな制限がありましたが、日本フィルの活動の三本柱「オーケストラ・コンサート」、次世代を担う子供達を育てる「エデュケーション・プログラム」、地域発展に貢献する「リージョナル・アクティビィティ」を中心に最善の活動をしてまいりました。2011年4月より継続している東日本大震災被災地に音楽を届ける活動「被災地に音楽を」もリモート等を活用しながら中断することなく行い、その回数は300を超えました。

コロナ禍での様々な困難を通して、生の音楽の感動の素晴らしさ、それを多くの方と共有する大切さ、人の心を揺り動かす音楽の力を改めて強く実感しました。と同時にオーケストラに対する社会からの要請がますます強くなっていると認識しています。芸術性と社会性を兼ね備えたトップ楽団である日本フィルは、これにしっかりと応えていかなくてはなりません。あらゆる人々へ、あらゆる世代へ、あらゆる地域へ、「今、何をすべきかオーケストラ」の問いかけのもと、“未来を担う子供たちのため”、“豊かな社会の実現のため”、新しく出現する社会をしっかりと見据え真摯に取り組んでいくこと、それが日本フィルの使命であり、皆様からのご支援、ご期待に応えることではないかと思っております。

今後とも皆様のご理解、ご支援を賜れれば幸いでございます。

日本フィルハーモニー交響楽団
理事長　平井 俊邦

■お振込みでのご寄付

①お名前 ②ご住所 ③TEL ④お振込額　を
メール donation@japanphil.or.jp まで
お知らせください。

【お振込先口座】
三菱UFJ銀行　高円寺支店（支店コード：155）
普通預金　0242402
公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団
※振込手数料はご負担くださいますようお願い申し上げます。

■オンライン寄付

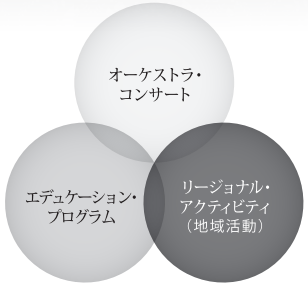
日本フィルの公式ホームページから
クレジットカードによりご寄付いただけます。
右のQRコードから
ご寄付のサイトを
ご覧いただけます。

ご寄付をいただきました方には、
後日寄付金受領書等をお送りいたします。

感動の共有
日本フィルハーモニー交響楽団

文化の発信

日本フィルは、
質の高い音楽をお届けする《オーケストラ・コンサート》
音楽との出会いを広げる《エデュケーション・プログラム》
そして音楽の力で様々なコミュニティを活性化させる
《リージョナル・アクティビティ》という
三つの柱で活動を行い、
音楽を通して文化を発信しています。



今月から下記の方々よりご支援をいただくことになりました。（敬称略）

パトロネージュ　**菅野 治幸**　神奈川県　／　**野谷 文昭**　東京都　**匿名2名**

存続の危機にある日本フィルへのご寄付

税額控除または所得控除の対象となります。詳しくは左のページをご覧ください。

パトロネージュ［個人寄付会員］

プログラム誌へのご芳名掲載や様々な特典があります。税額控除または所得控除の対象となります。
年会費：3万円／5万円／12万円／20万円／50万円／100万円

日本フィル・サポーターズクラブ

音楽に関心を持つ皆様に日本フィルの活動をご支援いただくシステムです。ご招待券2枚プレゼント、
主催公演チケット優先受付・優待（1割引）など様々な特典があります。
年会費：1万円

特別会員［法人寄付］

定期演奏会のご案内、プログラム誌へのご芳名の掲載などの特典があります。寄付金額を損金に算入することができます。

遺贈

遺言により財産をご寄付頂く方法です。税制上の優遇措置の対象となります。お申込みの方法など、提携銀行のご紹介など、詳しくは事務所までご相談ください。

お問い合わせ：日本フィル事務所　TEL03-5378-6311（10-18時、土日祝日休）

日本フィルハーモニー交響楽団 特別会員ご芳名

株式会社IDホールディングス
代表取締役社長 舩越 真樹
株式会社アイレ 代表取締役社長 荒江 健
アイング株式会社 代表取締役会長 飯嶋 庸夫
赤坂維新號 代表取締役社長 鄭 東静
あすか製薬株式会社 代表取締役社長 山口 惣大
株式会社アトックス 代表取締役 矢口 敏和
株式会社アドービジネスコンサルタント
代表取締役社長 池田 昭司
株式会社アール&キャリア
代表取締役社長 飯嶋 一晃
イーソリューションズ株式会社
代表取締役社長 佐々木経世
株式会社泉商会 代表取締役社長 八方 淑夫
株式会社泉放送制作 代表取締役社長 日下部恵一
磯野不動産株式会社 代表取締役社長 磯野 計一
稲畑産業株式会社 相談役 稲畑 勝雄
株式会社インフォマート 代表取締役社長 中島 健
株式会社内田洋行 代表取締役社長 大久保 昇
内野株式会社 代表取締役社長 内野 信行
宇部エクシモ株式会社 代表取締役社長 古賀 源二
株式会社ＡＩＴ 代表取締役社長 大熊 克美
株式会社エイブル＆パートナーズ
代表取締役会長兼社長 佐藤 茂
株式会社エヌエフホールディングス
代表取締役会長 高橋 常夫
NGB株式会社 代表取締役社長 宮﨑 潔
エヌビーエス株式会社 代表取締役会長 飯嶋 一晃
株式会社エルイーテック 代表取締役社長 坂田 洋一
エレコム株式会社 代表取締役会長 葉田 順治
大隅ミート産業株式会社 代表取締役社長 小森 浩一
株式会社大場造園 代表取締役社長 大場 二郎
株式会社岡三証券グループ 取締役会長 加藤 哲夫

小川香料株式会社 代表取締役社長 小川 裕
公益財団法人オリックス宮内財団
代表理事 宮内 義彦
花王株式会社 代表取締役 社長執行役員 長谷部佳宏
株式会社カカクコム 代表取締役社長 畑 彰之介
鹿島建設株式会社 代表取締役会長 押味 至一
鹿島建物総合管理株式会社
代表取締役社長 山本 和雄
鹿島道路株式会社 代表取締役社長 吉田 英信
株式会社カナック企画 代表取締役 金子高一郎
株式会社ガモウ 代表取締役 蒲生 茂
社会医療法人河北医療財団 理事長 河北 博文
川北電気工業株式会社 取締役社長 大津 正己
北野建設株式会社 代表取締役会長兼社長 北野 貴裕
キッコーマン株式会社
取締役名誉会長取締役会議長 茂木友三郎
キヤノン株式会社
代表取締役会長 兼 社長 CEO 御手洗冨士夫
キユーピー株式会社
代表取締役 社長執行役員 長南 収
株式会社協和日成 代表取締役社長 川野 茂
キリンホールディングス株式会社
代表取締役社長 磯崎 功典
株式会社きんでん 代表取締役社長 上坂 隆勇
株式会社九曜社 代表取締役社長 望月 耕次
グリーン・サポート・システムズ株式会社
代表取締役 笛木 彰
グローブシップ株式会社 代表取締役社長 矢口 敏和
株式会社京王設備サービス 取締役社長 浅野 義行
京王電鉄株式会社 代表取締役社長 紅村 康
京浜急行電鉄株式会社 取締役社長 川俣 幸宏
株式会社小泉 代表取締役社長 長坂 剛
株式会社興建社 代表取締役社長 水島 隆明

コーザイ株式会社 代表取締役 貝沼 信和
株式会社講談社 代表取締役社長 野間 省伸
株式会社コバヤシ 代表取締役 小林 達夫
コンパッソ税理士法人 代表社員 内川 清雄
株式会社コトブキ 代表取締役社長 深澤 幸郎
株式会社コンサートサービス 代表取締役 佐藤 修悦
佐藤製薬株式会社 代表取締役社長 佐藤 誠一
三機工業株式会社 特別顧問 梶浦 卓一
山九株式会社 代表取締役社長 中村 公大
サントリーホールディングス株式会社
代表取締役社長 新浪 剛史
三洋貿易株式会社 代表取締役社長 新谷 正伸
ジーエルサイエンス株式会社 取締役社長 長見 善博
ジェネロ株式会社 代表取締役 竹内 大志
株式会社慈恵実業 代表取締役社長 石塚 雄三
澁谷工業株式会社 取締役社長 澁谷 英利
株式会社じほう 代表取締役会長 武田正一郎
清水建設株式会社 代表取締役社長 井上 和幸
株式会社集英社 代表取締役社長 廣野 眞一
松竹株式会社 代表取締役社長 迫本 淳一
昭和電工ガスプロダクツ株式会社
代表取締役社長 平倉 一夫
昭和電工株式会社 代表取締役会長 森川 宏平
ショーボンドホールディングス株式会社
代表取締役社長 岸本 達也
新菱冷熱工業株式会社 代表取締役社長 加賀美 猛
株式会社ジャックス 代表取締役社長COO 山﨑 徹
株式会社ジンテック 代表取締役 柳 秀樹
株式会社杉江商店 代表取締役 杉江 寛
杉山商事株式会社 取締役社長 杉山 健
住友ベークライト株式会社 代表取締役社長 藤原 一彦
株式会社スプリックス 代表取締役社長 常石 博之

株式会社西武ホールディングス
代表取締役社長 後藤 高志
全国保証株式会社 代表取締役社長 石川 英治
第一倉庫株式会社 会長 小泉 駿一
株式会社泰秀 代表取締役社長 野口 通子
大正製薬株式会社 取締役会長 上原 明
大成建設株式会社 代表取締役社 相川 善郎

大同生命保険株式会社 代表取締役社長 北原 睦朗
大日本除虫菊株式会社 代表取締役社長 上山 直英
大日本塗料株式会社 代表取締役社長 里 隆幸
大和製罐株式会社 代表取締役社長 山口 裕久
高砂熱学工業株式会社
代表取締役社長COO 社長執行役員 小島 和人
千歳コーポレーション株式会社
取締役社長 森岡 寛司
千代田化工建設株式会社
代表取締役会長 兼 社長 榊田 雅和
株式会社千代田テクノル 代表取締役会長 細田 敏和
塚本總業株式会社 代表取締役社長 塚本 素清
ディアンドデパートメント株式会社
代表取締役社長 松添みつこ
株式会社ティーガイア 代表取締役社長 石田 將人
学校法人帝京大学 理事長 冲永 佳史
THK株式会社 代表取締役社長 寺町 彰博
ＴＩＳ株式会社 代表取締役社長 岡本 安史
株式会社電通 代表取締役 社長執行役員 榑谷 典洋
東亜建設工業株式会社 代表取締役社長 早川 毅
株式会社東急コミュニティー 取締役社長 木村 昌平
東京海上日動火災保険株式会社
取締役社長 広瀬 伸一
株式会社東京交通会館 代表取締役社長 興野 敦郎
東京都杉並区 区長 田中 良

東京美装興業株式会社　代表取締役社長　八木　秀記
東洋熱工業株式会社　代表取締役社長　谷口　昌伸
戸田建設株式会社　代表取締役会長　今井　雅則
トヨタ自動車株式会社　代表取締役社長　豊田　章男
株式会社永田音響設計　代表取締役社長　小口　恵司
株式会社永谷園ホールディングス
代表取締役会長　永谷栄一郎
株式会社ナミキ　代表取締役会長兼社長　並木　洋一
日総工産株式会社
代表取締役社長執行役員 兼 CEO　清水　竜一
日鉄興和不動産株式会社　代表取締役社長　今泉　泰彦
株式会社ニフコ　代表取締役会長　山本　利行
日本精工株式会社　取締役会長　内山　俊弘
日本製鉄株式会社　代表取締役社長　橋本　英二
日本電子株式会社　代表取締役会長 兼 CEO　栗原権右衛門
日本パーカライジング株式会社
株式会社日本マイクロニクス
代表取締役社長　長谷川正義
株式会社ネイチャーズウェイ
代表取締役社長　萩原　吉晃
根本特殊化学株式会社　代表取締役社長　根本美恵子
野村ホールディングス株式会社
代表執行役社長 グループCEO　奥田健太郎
パイオニア株式会社
代表取締役兼社長執行役員　矢原　史朗
ハウス食品グループ本社株式会社
代表取締役社長　浦上　博史
株式会社博報堂　代表取締役社長　水島　正幸
ハナマルキ株式会社　代表取締役社長　花岡　俊夫
パンパシフィック・カッパー株式会社
代表取締役社長　堀　一浩
阪和興業株式会社　代表取締役社長　中川　洋一
東日本住宅株式会社　代表取締役　桃野　直樹

非破壊検査株式会社　代表取締役社長　山口多賀幸
ひびき・パース・アドバイザーズ
代表取締役社長　清水　雄也
富国生命保険相互会社　代表取締役社長　米山　好映
富士急行株式会社　代表取締役社長　堀内光一郎
富士テレコム株式会社　代表取締役社長　西田　孝一
一般財団法人 藤本育英財団　理事長　藤本由紀子
古河産業株式会社　代表取締役社長　横田　敦彦
合同会社ベルファーマシー　代表社員　前島　景子
株式会社ポーラ・オルビスホールディングス
ホッカンホールディングス株式会社
代表取締役社長　池田　孝資
株式会社ポニーキャニオン
代表取締役社長　吉村　隆
本田技研工業株式会社　代表取締役社長　三部　敏宏
株式会社牧野フライス製作所
取締役社長　宮崎正太郎
マネックスグループ株式会社
代表執行役　松本　大
株式会社丸井グループ　代表取締役社長　青井　浩
株式会社丸の内よろず　取締役社長　中村　正博
丸美屋食品工業株式会社　代表取締役社長　阿部豊太郎
三井情報株式会社　代表取締役社長執行役員　浅野　謙吾
株式会社三井住友銀行　頭取CEO　髙島　誠
三井製糖株式会社　代表取締役社長　森本　卓
三井石油開発株式会社
三井倉庫ホールディングス株式会社
代表取締役社長　古賀　博文
三井物産株式会社　代表取締役社長　堀　健一
三井不動産株式会社　代表取締役社長　菰田　正信
株式会社三越伊勢丹アイムファシリティーズ
代表取締役会長　飯嶋　庸夫
株式会社三越伊勢丹ホールディングス
特別顧問　石塚　邦雄

三菱HCキャピタル株式会社
代表取締役 社長執行役員　柳井　隆博
三菱オートリース株式会社
代表取締役社長　中野　智
三菱ガス化学株式会社　代表取締役社長　藤井　政志
三菱地所株式会社　執行役社長　吉田　淳一
三菱自動車工業株式会社
取締役代表執行役社長 兼 最高経営責任者　加藤　隆雄
三菱重工業株式会社　取締役社長　泉澤　清次
三菱倉庫株式会社　相談役　宮崎　毅
株式会社三菱UFJ銀行　頭取　半沢　淳一
三菱UFJ証券ホールディングス株式会社
取締役社長 兼 グローバルCEO　小林　真
武蔵商事株式会社　代表取締役　宇田川紀通
明治安田生命保険相互会社
取締役代表執行役社長　永島　英器
株式会社明和住販流通センター
代表取締役　塩見　紀昭
メッドサポートシステムズ株式会社
代表取締役社長　大徳　眞一
株式会社メディアグラフィックス
代表取締役社長　水野　憲一
株式会社メルコホールディングス
代表取締役社長　牧　寛之
森社会保険労務士事務所　所長　森　康之
株式会社ヤクルト本社　相談役名誉会長　堀　澄也
山崎製パン株式会社
ヤマトホールディングス株式会社
取締役　神田　晴夫
UBE株式会社　取締役会長　山本　謙
ユウキフーヅシステム株式会社
取締役相談役　田中　晃
横河電機株式会社
米持建設株式会社　代表取締役　米持　大介

株式会社リガク　取締役会長　志村　晶
株式会社リョーサン
代表取締役社長執行役員　稲葉　和彦
株式会社Rings　代表取締役　矢部　和広
株式会社リンレイ　代表取締役社長　鈴木　信也
株式会社LABCO　代表取締役　高津　昌広
株式会社LEOC　代表取締役会長兼社長　小野寺裕司
ローム株式会社
代表取締役社長 社長執行役員　松本　功

匿名5名

（2022年7月1日現在・50音順・敬称略）

パトロネージュご芳名

会田　雅美	東京都
浅野　純次	埼玉県
朝吹　英和	東京都
厚田　理郎	東京都
阿部　俊彰	神奈川県
荒井　　昇	東京都
荒木　秀隆	東京都
荒蒔康一郎	東京都
有江　純子	神奈川県
有手　千麻	埼玉県
飯田　桂子	東京都
飯田　惠司	東京都
飯田　　憲	東京都
家近　　茂	東京都
家近　信子	東京都
五十嵐重雄	東京都
池浦　　慧	東京都
池田　　博	東京都
池野　隆光	東京都
池谷　光司	東京都
伊佐山建志	東京都
石井　　榮	東京都
石澤　卓志	千葉県
石塚　邦雄	東京都
石橋　秀雄	神奈川県
石橋　雄三	神奈川県
伊藤　貴博	東京都
伊東　宏恭	神奈川県
伊藤　昌司	東京都
稲葉　治樹	茨城県
稲葉　好正	東京都
犬塚　靜衞	東京都
井上　俊信	埼玉県
井上　直人	東京都
井上　浩良	東京都
岩瀬　順子	神奈川県
岩田　達明	静岡県
上野悦子・陽子	東京都
宇賀神裕子	神奈川県
臼井　　潤	東京都
内村　恒彦	神奈川県
江口　和廣	東京都
江口　麗子	東京都
遠藤　　滋	神奈川県
大石　直輝	山梨県
大熊美結紀	東京都
大倉　祐子	東京都
大島　　剛	埼玉県
大竹　広明	神奈川県
太田　五郎	神奈川県
太田　達男	千葉県
大塚　宣夫	東京都
大藤　裕康	埼玉県
大森　京太	東京都
岡本　　晋	東京都
岡田　尚子	埼玉県
岡田　雅史	神奈川県
奥林　群司	東京都
奥山　敦子	東京都
尾澤　弘久	神奈川県
尾上　洋子	東京都
小野寺けい子	岩手県
小野寺健一	岩手県
小幡　尚孝	東京都
小原　道生	東京都
折田　正樹	東京都
風間　沙織	神奈川県
賀澤　裕三	福島県
鹿島　英裕	東京都
片貝　英重	東京都
片柳　　彰	東京都
片山　英二	東京都
桂　　史子	東京都
加藤　壹康	静岡県
加藤　丈夫	東京都
加藤ひろみ	東京都
加藤　洋一	東京都
加藤　頼宣	東京都
金子　　修	埼玉県
金子　　肇	千葉県
上條　貞夫	東京都
上條　淑子	東京都
川合　孝一	千葉県
川瀬　範子	東京都
川畑　雅義	東京都
河田　義宏	東京都
菅野　治幸	神奈川県
菊池　和美	東京都
喜多㐂久江	東京都
北村　篤嗣	埼玉県
北村　　裕	神奈川県
木藤　正義	埼玉県
木村　惠司	神奈川県
草刈　隆郎	東京都
久野　哲男	千葉県
熊谷　朝子	東京都
倉谷　宏樹	東京都
栗原真知子	埼玉県
黒田　真一	東京都
畔柳　信雄	東京都
甲賀　一宏	埼玉県
好士﨑稔子	東京都
胡口　靖夫	東京都
児玉　敏宏	東京都
児玉　玲子	東京都
小林こずえ	東京都
小林　裕美	東京都
小林　容子	東京都
駒見　俊彦	東京都
五味　康昌	神奈川県
酒井　重人	東京都
酒井　和夫	神奈川県
酒井　　伸	長野県
酒巻　英俊	東京都
定形　　哲	神奈川県
佐藤　武男	東京都
佐藤　寛之	東京都
佐藤　正昭	東京都
座間　淑美	神奈川県
澤田　初恵	東京都
柴田　栄一	東京都
島田　精一	東京都
島田　敏生	神奈川県
島田　晴雄	東京都
清水　久子	東京都
清水　幸雄	千葉県
下河辺美知子	東京都
下條　英敏	神奈川県
下田　英一	東京都
生島　貴司	千葉県
新庄真帆子	大阪府
晋友会合唱団	東京都
菅　千太郎	東京都
杉山　秀子	東京都
杉山　浩明	東京都
鈴木　昌子	神奈川県
鈴木　庸夫	東京都
鈴木　祐二	東京都
住野　公一	東京都
関　　兼英	東京都
妹尾　絲子	東京都
仙石　通泰	東京都
宗　　神子	大分県
染野　郁郎	東京都
髙井　延幸	神奈川県
髙木　宏忠	東京都
高須　幸雄	東京都

髙田　信子	東京都
髙橋　信喜	東京都
武岡　哲郎	東京都
竹下　道夫	東京都
竹中富知男	東京都
龍川　　優	東京都
立山　裕子	熊本県
田中稀一郎	東京都
田中　宏征	兵庫県
田仲　博幸	東京都
田中　將介	神奈川県
田辺三基男	東京都
谷　　聖美	神奈川県
田村　　一	山梨県
田村　浩章	東京都
塚本　和久	東京都
塚本　美幸	東京都
辻　　雅夫	東京都
蔦井　厚伸	東京都
津田　義久	東京都
常石　博之	東京都
角田　峻一	東京都
坪井　和音	東京都
積田　孝一	東京都
d日本フィルの会	
寺澤　佳代	東京都
東京フロイデ合唱団	東京都
時枝　直満	東京都
徳田　俊一	東京都
徳田　陽一	東京都
外山　雄三	東京都
中尾　誠利	神奈川県
ナガオカケンメイ	東京都
中島　奈穂	東京都
中島美知子	東京都
長瀬　雅則	東京都
中園　和博	東京都
仲田　喜義	東京都
中西　　泉	東京都
永野　明宏	千葉県
永野　琢夫	東京都
中村　公一	東京都
中村　禎良	東京都
中本　逸郎	東京都
那須　雄治	東京都
棗　年紀・綾	東京都
新倉　啓介	東京都
西澤　　豊	東京都
西村　敬子	京都府
西村　醇子	神奈川県
日本フィルハーモニー協会所沢支部	埼玉県
二村　英之	東京都
沼口　元彦	東京都
根本　直之	千葉県
野谷　文昭	東京都
箱崎　一彦	千葉県
橋倉　宏行	埼玉県
蓮見　正純	東京都
羽田　洋子	神奈川県
濱田　尚人	東京都
林　　一郎	東京都
原　　宏輔	東京都
原　　　俊	千葉県
針谷　博史	東京都
平井　邦子	神奈川県
平井　嘉朗	東京都
平田　邦夫	神奈川県
平田　　正	神奈川県
平林　直哉	東京都
平松　恒治	東京都
広瀬　勝貞	大分県
広瀬　晴子	神奈川県
深沢　茂実	神奈川県
福井　英次	東京都
福田　昭夫	東京都
藤井　裕一	東京都
藤沢　　薫	東京都
藤本由紀子	東京都
藤原　真也	東京都
古瀬　明弘	東京都
星　桂太朗	東京都
本田　　博	熊本県
前田　耿史	神奈川県
前田圭一郎	千葉県
牧野　澄夫	東京都
正木　信汎	東京都
増田　文彦	神奈川県
松尾	東京都
松田　孝裕	埼玉県
松田　　譲	東京都
松本　信義	東京都
三木恵美子	神奈川県
三木　繁光	東京都
峯島　茂之	東京都
宮川　輝男	千葉県
宮本　裕二	兵庫県
武藤　雄二	埼玉県
村上　純子	埼玉県
村上　洋美	東京都
村上　泰郎	東京都
持田　　泰	東京都
元永　徹司	神奈川県
森　　稔樹	神奈川県
森　　宏之	神奈川県
森川　智之	神奈川県
八木　一郎	山梨県
矢口　敏和	千葉県
矢倉　俊紀	東京都
八代　元行	東京都
柳田　　淑	神奈川県
谷野　　剛	東京都
山上　典彦	東京都
山口　幸子	東京都
山口　仁栄	東京都
山口　達之	長崎県
山口みどり	東京都
山越　章弘	長野県
山下　芳広	北海道
山田　敏之	神奈川県
山田　宏己	東京都
山村　　隆	東京都
山村　美絵	東京都
山本　高稔	東京都
油井　直次	東京都
横川　　直	東京都
吉川　美保	東京都
吉川　隆一	東京都
吉谷恵美子	神奈川県
吉村　真幸	埼玉県
吉村　匡則	東京都
渡辺　敦郎	東京都
渡辺　和子	東京都
渡邉規久雄	東京都
渡邉　　直	東京都
渡邉　裕志	山口県
渡辺　康匡	東京都
F.H.	
M.K.	

匿名73名

（2022年7月1日現在
50音順・敬称略）

TOKYO 東京

2022／2023シーズン
日本フィルハーモニー交響楽団

東京定期演奏会

会場／サントリーホール
金曜日／19:00開演　土曜日／14:00開演

◆ 秋季 ◆

2022 9 September	【第743回】 2日(金)、3日(土)	指揮：山田 和樹　ヴァイオリン：田野倉 雅秋［日本フィル・コンサートマスター］ 貴志康一：ヴァイオリン協奏曲 ウォルトン：交響曲第1番
2022 10 October	【第744回】 21日(金)、22日(土)	指揮：ピエタリ・インキネン［首席指揮者］ 【ベートーヴェン・ツィクルスVol.5】 ベートーヴェン：交響曲第8番　ベートーヴェン：交響曲第7番
2022 11 November	【第745回】 18日(金)、19日(土)	指揮：アレクサンドル・ラザレフ［桂冠指揮者兼芸術顧問］ バラキレフ（リャプノフ編曲）：東洋風幻想曲《イスラメイ》　他
2022 12 December	【第746回】 9日(金)、10日(土)	指揮：下野 竜也　テノール：糸賀 修平* フィンジ：入祭唱*　タネジ：3人の叫ぶ教皇　フィンジ：武器よさらば* ヴォーン＝ウィリアムズ：交響曲第6番
2023 1 January	【第747回】 20日(金)、21日(土)	指揮：カーチュン・ウォン［首席客演指揮者］ 伊福部昭：シンフォニア・タプカーラ バルトーク：管弦楽のための協奏曲

◆ 春季 ◆

2023 3 March	【第748回】 3日(金)、4日(土)	指揮：小林 研一郎［桂冠名誉指揮者］　ピアノ：金子 三勇士 リスト：ピアノ協奏曲第1番 ベートーヴェン：交響曲第3番《英雄》
2023 4 April	【第749回】 28日(金)、29日(土)	指揮：ピエタリ・インキネン［首席指揮者］　ソプラノ：ヨハンナ・ルサネン バリトン：ヴィッレ・ルサネン　男声合唱：ヘルシンキ大学男声合唱団、東京音楽大学 シベリウス：《クレルヴォ交響曲》
2023 5 May	【第750回】 12日(金)、13日(土)	指揮：カーチュン・ウォン［首席客演指揮者］　チェロ：佐藤 晴真 ミャスコフスキー：交響曲第21番《交響幻想曲》 芥川也寸志：チェロとオーケストラのための《コンチェルト・オスティナート》 ヤナーチェク：シンフォニエッタ
2023 6 June	【第751回】 9日(金)、10日(土)	指揮：アレクサンドル・ラザレフ［桂冠指揮者兼芸術顧問］　ピアノ：阪田 知樹 プロコフィエフ：ピアノ協奏曲第2番 タネーエフ：交響曲第4番
2023 7 July	【第752回】 7日(金)、8日(土)	指揮：広上 淳一［フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）］ 出演者調整中 レオンカヴァッロ：歌劇《道化師》（演奏会形式）

年間定期会員券（全10回） 発売日 好評発売中
S席 ¥48,000　A席 ¥38,000　B席 ¥35,000　C席 ¥30,000　P席 ¥24,000　Ys席 ¥13,000

半季定期会員券（全5回） 発売日 【秋季】好評発売中　【春季】2022年12月1日（木）
【秋季】 S席 ¥26,000　A席 ¥21,000　B席 ¥19,000　C席 ¥16,000　P席 ¥13,000　Ys席 ¥7,000
【春季】 S席 ¥26,000　A席 ¥21,000　B席 ¥19,000　C席 ¥16,000　P席 ¥10,400（4月除く）　Ys席 ¥7,000

1回券 発売日 【秋季】好評発売中　【春季】2022年12月20日（火）
S席 ¥8,000　A席 ¥6,500　B席 ¥6,000　C席 ¥5,000　P席 ¥4,000　Ys席 ¥1,500

【お申込み・お問合わせ】日本フィル・サービスセンター
TEL：03-5378-5911［平日11時-16時］　FAX：03-5378-6161［24時間］　eチケット♪：www.japanphil.or.jp

YOKOHAMA 横浜

2022／2023シーズン
日本フィルハーモニー交響楽団

横浜定期演奏会

10月までは横浜みなとみらいホールが改修工事のため、
9月10月は神奈川県民ホールでの公演となります。
会場／神奈川県民ホール、横浜みなとみらいホール
木曜日／19:00開演　土曜日／17:00開演

◆ 秋季 ◆

2022 9 September	【第380回】 22日(木) 会場／神奈川県民ホール	指揮：小林 研一郎［桂冠名誉指揮者］　ヴァイオリン：周防 亮介 チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲 チャイコフスキー：交響曲第6番《悲愴》
2022 10 October	【第381回】 1日(土) 会場／神奈川県民ホール	指揮：藤岡 幸夫　ヴァイオリン：髙木 凜々子 ヴィヴァルディ：ヴァイオリン協奏曲集《四季》 ベートーヴェン：交響曲第7番
2022 11 November	【第382回】 26日(土) 会場／横浜みなとみらいホール	指揮：アレクサンドル・ラザレフ［桂冠指揮者兼芸術顧問］　児童合唱：未定 チャイコフスキー：バレエ音楽《くるみ割り人形》
2022 12 December	【第383回】 17日(土) 会場／横浜みなとみらいホール	指揮：太田 弦　ソプラノ：盛田 麻央　アルト：杉山 由紀　テノール：樋口 達哉 バリトン：黒田 祐貴　合唱：東京音楽大学 ベートーヴェン：エグモント序曲　ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱》
2023 1 January	【第384回】 28日(土) 会場／横浜みなとみらいホール	指揮：カーチュン・ウォン［首席客演指揮者］　ピアノ：小菅 優 ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第3番 ラフマニノフ：交響曲第2番

◆ 春季 ◆

2023 3 March	【第385回】 11日(土) 会場／横浜みなとみらいホール	指揮：藤岡 幸夫　サクソフォン：須川 展也 菅野祐悟：サクソフォン協奏曲《Mystic Forest》 チャイコフスキー：交響曲第4番
2023 4 April	【第386回】 22日(土) 会場／横浜みなとみらいホール	指揮：原田 慶太楼　チェロ：ジョヴァンニ・ソッリマ ドヴォルジャーク：チェロ協奏曲 吉松隆：交響曲第6番《鳥と天使たち》
2023 5 May	【第387回】 20日(土) 会場／横浜みなとみらいホール	指揮：ピエタリ・インキネン［首席指揮者］　ソプラノ：森谷 真理　アルト：池田 香織 テノール：宮里 直樹　バリトン：大西 宇宙　合唱：東京音楽大学 【ベートーヴェン・ツィクルスVol.6】 シベリウス：交響詩《タピオラ》　ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱》
2023 6 June	【第388回】 3日(土) 会場／横浜みなとみらいホール	指揮：アレクサンドル・ラザレフ［桂冠指揮者兼芸術顧問］　ピアノ：小山 実稚恵 プロコフィエフ：ピアノ協奏曲第3番 ショスタコーヴィチ：交響曲第7番《レニングラード》
2023 7 July	【第389回】 1日(土) 会場／横浜みなとみらいホール	指揮：川瀬 賢太郎 プログラム調整中

年間定期会員券（全10回） 発売日 好評発売中
S席 ¥48,000　A席 ¥38,000　B席 ¥35,000　C席 ¥30,000　P席 ¥24,000　Ys席 ¥13,000

半季定期会員券（全5回） 発売日 【秋季】好評発売中　【春季】2022年12月1日（木）
【秋季・春季】 S席 ¥26,000　A席 ¥21,000　B席 ¥19,000　C席 ¥16,000　P席 ¥13,000　Ys席 ¥7,000

1回券 発売日 【秋季】好評発売中　【春季】2022年12月20日（火）
12月＆5月以外　S席 ¥8,000　A席 ¥6,500　B席 ¥6,000　C席 ¥5,000　P席 ¥4,000　Ys席 ¥1,500
12月＆5月　S席 ¥9,000　A席 ¥7,500　B席 ¥7,000　C席 ¥6,000　P席 ¥5,000　Ys席 ¥3,500

NEXT CONCERTS
>> 次回東京定期演奏会

第743回

サントリーホール

2022年9月2日(金)19:00開演　プレトーク 18:30〜
3日(土)14:00開演　プレトーク 13:20〜
両日ともプレトークあり!

戦争前夜の1935年。
日本とイギリスで書かれた「粋」と「誇り」の世界

1回券料金	S ¥8,000　A ¥6,500　B ¥6,000　C 完売　P ¥4,000　Ys（25歳以下）¥1,500

※障害者手帳をお持ちの方は割引きがございますので、サービスセンターにお問い合わせください。

次回東京定期演奏会指揮者にインタビュー！

聞き手　小室 敬幸

—山田さんが日本フィルと初共演したのは2007年の10月で、その5年後には正指揮者に就任。そこから更に10年が経ったわけですが、15年間共演を重ねてきた日本フィルは、山田さんにとってどのような存在ですか？

振り返ってみると、日本フィルとしか出来ないプログラムを沢山させてもらいました。でもそれは僕のアイデアだけでなく、企画制作部長の益満さん（僕と同郷の神奈川県秦野市出身！）との強いタッグで生まれてきたんです。曲決めのコミュニケーションからして面白くて（笑）。僕が提案することもあれば、益満さんが言うならと全面的に受け入れたこともありました。

僕にとっても、オーケストラにとっても初挑戦の曲やさまざまな企画にいっぱい取り組んできたので、一緒にチャレンジできるオーケストラだと思っています。様々な挑戦を通じて何事も一緒に成長できる間柄。ある意味、戦友のようにも感じています。

もうひとつ大事なのは、日本フィルには地名ではなく国の名前が付いているということ。国立ではないけれど日本フィル、ジャパン・フィルであるわけですから、日本の作品を取り上げる意味はとても大きい。それは創立指揮者である渡邉暁雄先生の思いでもあり、だからこそ1958年から始まった日本フィル・シリーズ（日本人作曲家への新作委嘱シリーズ）がいまだに継続しているわけですから。

—日本フィルとの取り組む次の挑戦といえるのが、9月の演奏会における貴志康一（1909〜1937）のヴァイオリン協奏曲ですね。1935年に完成した日本人初のヴァイオリン協奏曲とされる、非常にロマンティックで抒情的な旋律が美しい作品です。

彼の名前はもちろん知っていたんですが、作品を指揮するのは初めてなんですよ。これは日本史上に残る名曲のひとつといって間違いないです！ 分かりやすいシンプルな旋律と多彩なサウンドが共存しているのが実に魅力的ですね。西洋の書法のなかで日本的な香りを醸し出しているので、きっとお客さんの心にもダイレクトに届くと思いますよ。今回、ソロを弾くのは（日本フィルのコンマスである）田野倉さんなんですけれど、2019年には間宮芳生さんのヴァイオリン協奏曲で素晴らしい演奏を聴かせてくれたので、その時に勝るとも劣らない熱量を期待しています。

—後半は、合唱入りの「ベルシャザールの饗宴」が最近日本でも度々演奏されているイギリスの作曲家ウィリアム・ウォルトン（1902〜1983）。彼の交響曲第1番が取り上げられますが、貴志康一のヴァイオリン協奏曲と同じく1935年に完成した作品なんですね。

それこそ、これは益満さんから10年ぐらい前から薦められていた作品なんです。でも、めちゃくちゃ難しくて、指揮者もオーケストラもとても大変なので、おいそれとやりましょうと言えなかった。それを何故、このタイミングで取り上げることにしたかといえば、やはりイギリスのバーミンガム市交響楽団で2023年4月から首席指揮者とアーティスティックアドバイザーを引き受けることになったことが大きいですね。それで、イギリス音楽にも腰を据えて向き合おうという覚悟が固まった訳です。ウォルトンもこれまでは短めの曲しか取り上げたことがなかったので、今回の交響曲第1番の演奏は大きなチャレンジになります。

ウォルトンは短調でも音色が暗くなりすぎないというか、カラッとしたサウンドが特徴で、英国紳士の振る舞いじゃないけど、どんな時であろうとも高貴さが感じられるのが魅力ですね。この交響曲を通して、宝石が散りばめられた万華鏡のまばゆいほどの輝きに包まれるような音の洪水に身を浸していただけたらと思います。

※9月東京定期演奏会のプログラムでは正指揮者10年間を振り返ります。お楽しみに！

助成：文化庁文化芸術振興費補助金
（舞台芸術創造活動活性化事業）
独立行政法人 日本芸術文化振興会

● 定年のお知らせ

第2ヴァイオリンの加藤祐一が2022年6月18日に、川口貴が2022年6月30日に定年を迎えました。加藤は1985年6月、川口は1986年12月に入団し、ヴァイオリン・セクションで活躍してまいりました。定年後も引き続き嘱託のヴァイオリン奏者として演奏いたします。今後もご期待ください。

● 日本フィルeチケット♪が新システムに切り替わります。

―2022年秋開始予定―

既に「日本フィルeチケット♪」をご利用いただいている方には、メールにてご案内をお送りいたします。手順に沿ってお手続きをお願いいたします。

● 9月から開場時間・プレトーク「本日の聴きどころ」の開始時間が変わります。

土曜日:
13:10 開場／**13:20** プレトーク開始

9月は金曜日もプレトークあり
18:20 開場／**18:30** プレトーク開始

● 日本フィルYoutube7月より新シリーズスタート！

「5分でわかる!大人のためのオーケストラ入門」音楽評論家 奥田佳道×映画プロデューサー 村上典吏子

8月下旬からは新シーズンのプログラムをどう楽しむか、「5分でわかる!日本フィルの東京定期」も予定。お楽しみに!

● テレビ番組レギュラー出演のお知らせ

日本フィルがBSに。指揮者が語るミニ番組!『Welcomeクラシック』BS朝日 毎週水曜日22:54〜23:00(第3週、第4週は再放送)。7月〜9月は首席指揮者ピエタリ・インキネン。ぜひご覧ください!

● もうすぐ発売

2022年7月13日(水)発売

コバケン・ワールドVol.32

2022年11月3日(木・祝)14:00開演
サントリーホール

指揮:小林 研一郎[桂冠名誉指揮者]
チェロ:宮田大

ドヴォルジャーク:チェロ協奏曲
ドヴォルジャーク:交響曲第8番

S¥6,500 A¥5,300 B¥4,200 C¥3,200
Ks¥1,500 Gs¥4,500

2022年7月13日(水)発売

第240回芸劇シリーズ

2022年11月5日(土)14:00開演
東京芸術劇場

指揮:小林 研一郎[桂冠名誉指揮者]

ドヴォルジャーク:交響曲第8番
ドヴォルジャーク:交響曲第9番《新世界より》

S¥7,000 A¥5,500 B¥5,000 C¥4,000
Gs¥4,000 Ys¥1,500

❖ プレトーク「本日の聴きどころ」

東京定期演奏会の土曜日は、毎回これから始まるコンサートの聴きどころや楽曲解説、アーティストの素顔等を紹介いたします。今回は舩木篤也氏の登場です。
土曜日13:30〜

定期会員券ご寄付のお願い

お客様のご都合により、定期演奏会にご来場いただけなくなった時は、是非日本フィルにチケットをご寄付ください。有効に活用させていただきます。

6月の東京定期演奏会の定期会員券をお譲りいただきました。心より御礼申し上げます。
(50音順・敬称略)梅津 直子、横手 栄子、匿名6名

ご寄付の方法 ご寄付いただける会員券の公演日・座席数・座席番号を日本フィル・サービスセンターにお電話かFAX、メールにてご連絡の上、会員券をご郵送ください。主催会場でも受け付けます。

※公演 1 週間前のご寄付に関しては、会員券のご郵送は不要です。※会員券のご郵送代はお客様にてご負担いただきます様ご協力をお願い致します。※ご寄付いただいた定期会員のお客様には、ご寄付いただきました公演月のプログラム冊子を後日ご郵送致します。また、翌月または翌々月のプログラムにご芳名を掲載させていただきますので、掲載をご希望されないお客様はご連絡をお願い致します。

日本フィル・サービスセンター
〒166-0011 東京都杉並区梅里 1-6-1
TEL:03-5378-5911(平日11 時〜17 時) FAX:03-5378-6161(24時間) E-mail:order-ticket@japanphil.or.jp

人、音楽、自然――日本フィルのテーマです。
JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

楽団創立 1956 年 6 月

創立指揮者	渡邉 曉雄	首席指揮者	ピエタリ・インキネン
桂冠名誉指揮者	小林 研一郎	桂冠指揮者 兼 芸術顧問	アレクサンドル・ラザレフ
名誉指揮者	ルカーチ・エルヴィン	フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)	広上 淳一
名誉指揮者	ジェームズ・ロッホラン	正指揮者	山田 和樹
客員首席指揮者	ネーメ・ヤルヴィ	首席客演指揮者	カーチュン・ウォン

ソロ・コンサートマスター：木野 雅之
ソロ・コンサートマスター：扇谷 泰朋
コンサートマスター：田野倉雅秋
アシスタント・コンサートマスター：千葉 清加
第1ヴァイオリン：太田 麻衣 九鬼 明子 齋藤 政和 榊 渚 佐藤駿一郎 田村 昭博 中谷 郁子 西村 優子 平井 幸子 本田 純一 町田 匡
第2ヴァイオリン：遠藤 直子 大貫 聖子 岡田 紗弓 加藤 祐一 神尾あずさ○ 川口 貴 末廣 紗弓 竹歳 夏鈴 谷﨑 大起□ 豊田 早織 山田 千秋
ヴィオラ：安達 真理☆ 小俣 由佳 小中澤基道 児仁井かおり 高橋 智史 中川裕美子 中溝とも子 松澤 稚奈
ソロ・チェロ：菊地 知也
チェロ：石崎 美雨 伊堂寺 聡 江原 望 大澤 哲弥 久保 公人 山田 智樹 横山 桂
コントラバス：菅原 光 鈴村 優介 髙山 智仁◎ 成澤 美紀 宮坂 典幸○ 山口 雅之
フルート：齋藤 光晴 難波 薫 真鍋 恵子◎
オーボエ：佐竹 真登 杉原由希子◎ 松岡 裕雅○
クラリネット：伊藤 寛隆◎ 楠木 慶○ 照沼 夢輝 堂面 宏起
ファゴット：大内 秀介 鈴木 一志◎ 田吉佑久子○ 中川日出鷹
ホルン：伊藤 舜□ 宇田 紀夫 信末 碩才◎ 原川翔太郎 丸山 勉☆ 村中 美菜
ソロ・トランペット：オッタビアーノ・クリストーフォリ
トランペット：大西 敏幸□ 中里 州宏 中務 朋子 星野 究
トロンボーン：伊藤 雄太 伊波 睦 岸良 開城○
バス・トロンボーン：中根 幹太
テューバ：柳生 和大
ティンパニ：エリック・パケラ◎
パーカッション：大河原 渉
ハープ：松井 久子

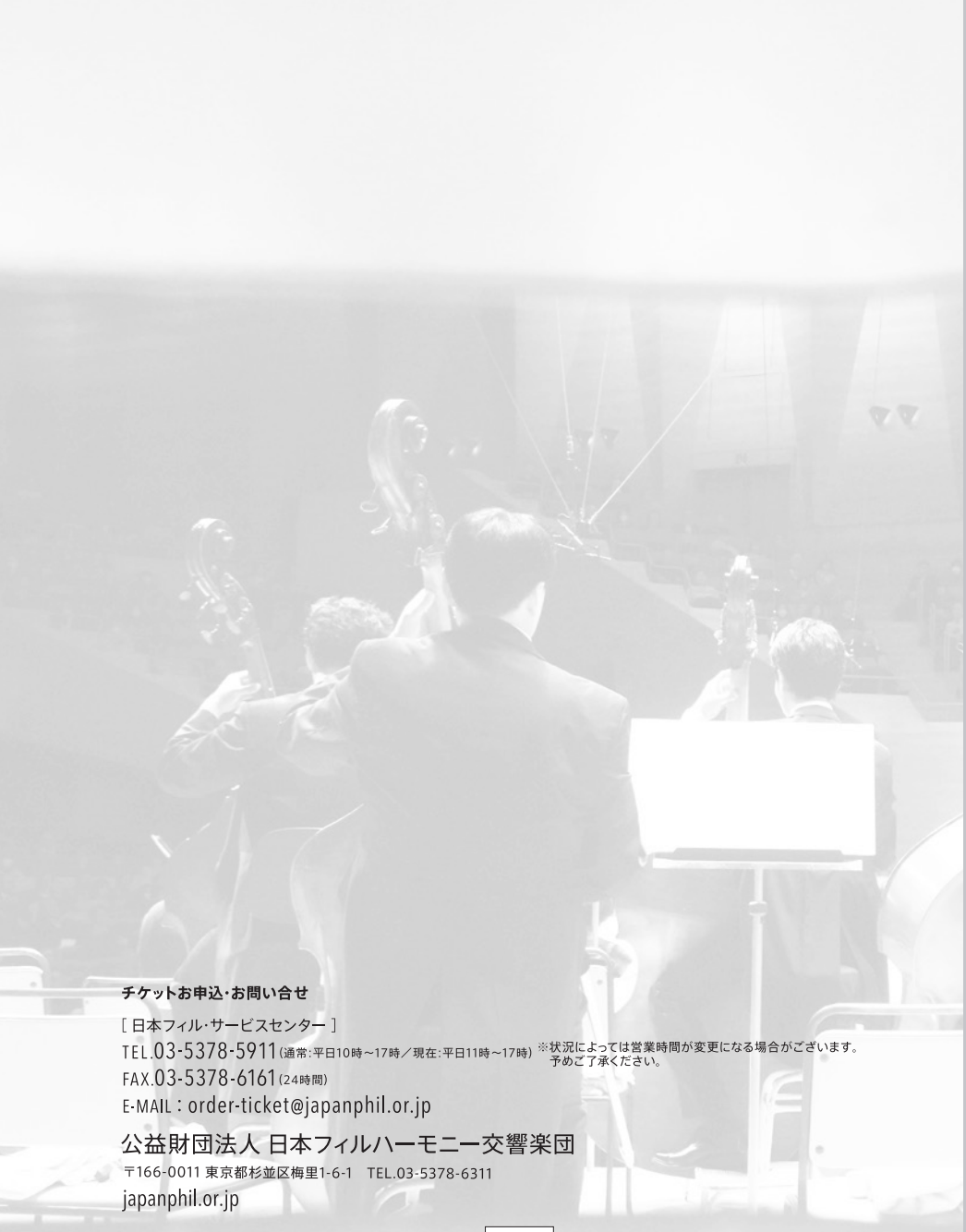
楽団長：中根 幹太
チーフステージマネージャー：阿部 紋子
ステージスタッフ：長橋 健太 森田 大翔
チーフインスペクター：佐藤駿一郎
インスペクター：宇田 紀夫 鈴村 優介
ライブラリアン：鬼頭さやか 杉本 哲也

◎首席奏者 ○副首席奏者 ☆客演首席奏者 □試用期間

理事長(代表理事)：平井 俊邦
副理事長(代表理事)：五味 康昌
常務理事(代表理事)：後藤 朋俊
常務理事(代表理事)：中根 幹太
常務理事(代表理事)：福井 英次
理事：石井啓一郎／遠藤 滋 佐々木経世／田村 浩章 戸所 邦弘／福本ともみ
評議員会会長：加藤 丈夫
評議員：青井 浩／安孫子 正 荒蒔康一郎／石塚 邦雄 石村 等／稲垣 尚 内川 清雄／大塚 宣夫 海堀 周造／梶浦 卓一 河北 博文／喜多 崇介 木村 惠司／久保田 隆 小林研一郎／島田 精一 津田 義久／西澤 豊 野間 省伸／葉田 順治 村上典吏子／山口多賀幸
監事：上條 貞夫
名誉顧問：熊谷 直彦
名誉顧問：島田 晴雄
名誉顧問：田邊 稔
アドバイザリー・ボード：大島 剛／小野 敏夫 小網 忠明／後藤 茂 武田 隆男／田邊 稔 堀越 作治／溝口 文雄
コミュニケーション・ディレクター：マイケル・スペンサー
マネジメント・スタッフ：磯部 一史／江原 陽子 及川ひろか／小川紗智子 萩島 里帆／賀澤 美和 柏熊由紀子／小須田 萌 佐々木文雄／澤田 智夫 篠崎めぐみ／清水佑香子 杉山 綾子／杉山まどか 高橋 勇人／田中 正彦 槌谷 祐子／中村沙緒里 西田 大輔／長谷川珠子 馬場 桃子／藤田 千明 別府 一樹／益滿 行裕 宗澤 晶子／山岸 淳子 吉岡 浩子

団友：
青柳 哲夫／青山 均／赤堀 泰江
浅井 俊雄／淺見 浩司／新井 豊治
石井啓一郎／伊藤 恒男／江藤 瓔子
遠藤 功／遠藤 剛史／大石 修
大川内 弘／大味 修／筧 美知子
金本 順子／蒲谷 隆行／川口 和宏
菊田 秋一／吉川 利幸／木村 正伸
小林 俊夫／小山 清／斎藤 千種
佐々木裕司／佐藤 玲子／髙木 裕子
髙木 雄司／高木 洋／高倉 理実
田沢 烈／立川 和男／堂阪 俊子
富樫 尚代／豊田 尚生／中川 二朗
永田 健一／中務 幸彦／奈切 敏郎
橋本 洋／畑井紀代子／平賀 法子
福島 喜裕／松本 克巳／松本 伸二
三谷 昭平／三本 克郎／宮武 良平
三好 明子／森 茂／山下 進三
山科 淑子／山本 辰夫／渡辺 哲雄

(2022年7月1日現在)



チケットお申込・お問い合せ

[日本フィル・サービスセンター]
TEL.03-5378-5911(通常：平日10時～17時／現在：平日11時～17時) ※状況によっては営業時間が変更になる場合がございます。予めご了承ください。
FAX.03-5378-6161(24時間)
E-MAIL：order-ticket@japanphil.or.jp

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団
〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1　TEL.03-5378-6311
japanphil.or.jp

公式Twitter
@Japanphil

公式アカウント

BS朝日 5 「Welcome クラシック」指揮者が語るミニ番組
毎週水曜日 22:54～23:00 放送中!!